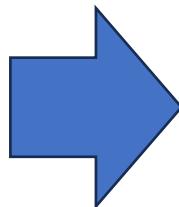


北遠中央圏域 各地区の活動状況

佐久間地区

課題

- ・地域内で認知症の症状が気になる高齢者が増えてきたが、どのように対応すればよいか分からない。
- ・昔ながらのご近所の見守りはあるものの、生活している人も年を取り、限界を感じている。
- ・専門職も気にかけているが、早期段階での支援につながらない。



「さくま安心だ和いネット」の結成

- ・日頃の活動・業務で住民の方たちと関わった中で、事業所や団体がちょっと気が付いたことを気軽に相談できる関係性をつくるネットワーク

さくま安心 だ和いネット連絡会



ご近所サポーター 養成講座

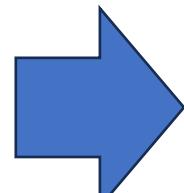


企業・団体等の 見守りを推進

地域住民同士の 見守りを推進

最近の取り組み

- ・だ和いネット結成から5年が経過。改めて協力団体等へ目的や活動内容を周知する必要があるのではないか。

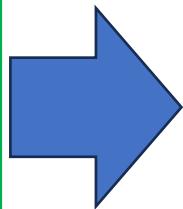


- ・協力団体へ再度、だ和いネットの周知を行う。
- ・だ和いネット連絡会に参加したくなる内容を検討。

水窪地区

課題

- ・地域内で認知症の症状が気になる高齢者が増えてきたが、どう対応したら良いか分からず。
- ・専門職も気にかけているが、早期段階での支援につながらず。
- ・現状の活動者が高齢化してきて若い人が入って来ない



「水窪あんしんネットワーク」の結成

- ・水窪町内の団体、商店、事業所の協力のもと、普段のお仕事、活動、生活の中で、気がかりな高齢者に気づいた際に、可能な範囲で専門機関にご連絡を頂き、いち早く必要な対応につなげようとする活動

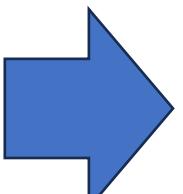


「ささえあいポイント事業登録研修会」 の開催

- ・水窪地区社協主催、市社協協力のもと実施。サロン運営や高齢者への軽度なボランティア活動(ゴミ出し等)ができる登録者が、新たに13名増えた

最近の取り組み

- ・認知症の方を地域で見かけた時の対応の仕方など、ノウハウ的なものを学ぶ機会は継続してあった方がいい。

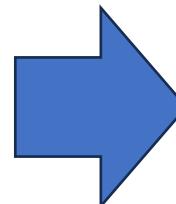


- ・水窪あんしんネットワーク連絡会として、「認知症サポート養成講座」を開催予定

龍山地区

課題

- ・地元商店が少なく、移動販売はあるけれど日用品や衣服を取り扱っていなくて困っている。
- ・お店が無くなり下着が買えない。下着なので夫に買ってきて欲しいとも頼めない。
- ・新型コロナ以降、地元の人同士で会う機会が減った。



「たつやマルシェ」の開催

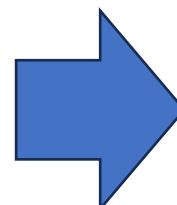
- ・NPOほっとたつやま主催、地区社協等の協力の下、年3回の「地域住民の為のマルシェ」
- ・地域に床屋が無くなったり
→出張床屋をマルシェで開催など



地域のニーズに合わせて、
活動内容を改良している

最近の取り組み

- ・同報無線の使用が難しくなり、以前よりも地域活動が広報し辛くなったり。
- ・以前実施したくらしのアンケートの中で、携帯について興味はあるが、利用できない機能があると回答があった。



- ・山里いきいき応援隊による「スマホ相談」の実施
- ・地域向け情報の広報用のNPOの公式LINE「お知らせ龍山」の周知